

# 命をつなぐ救急車 適正な利用を

いざというときに私たちの命をつないでくれる救急車。令和4年の搬送者のうち、結果として約6割が救急車を呼ぶ必要のない軽症者でした。

救急車が必要な人のもとに1秒でも早くたどり着くために、正しい利用を心がけましょう。



**問** 消防本部救急課 / TEL674-7979

様がおかしいとき  
あなたの取るべき行動は？

救急車を呼ぶべきか、  
病院に行くべきか悩むとき

- ・微熱が下がらない
- ・虫歯が痛む
- ・持病の腰痛が気になる
- ・子どもがこけて足を擦りむいた など



明らかにいつもと  
様子が違うとき

- ・意識がない
- ・けいれんが止まらない
- ・息をしていない
- ・吐血した
- ・支えなしで立てない など

救急安心センターおおさか  
**#7119**

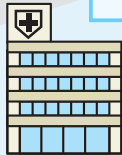
24時間365日

ためらわず通報  
**119番**

聴覚・言語機能障がい者など、119番通報が困難な人は、Net119緊急情報通報システムをご利用ください。事前登録必要



緊急性が低い



受診可能な病院や受診のタイミングなどをアドバイスします

緊急性が高い



直ちに救急車が緊急出動します

## 悩んだときは 救急安心センターおおさかへ連絡を

救急車は、年々出動頻度が増加していて、市では22分に1回出動しています。救急安心センターおおさかは、看護師が医師の支援のもと症状などを聞き取り、緊急性があるかを判断してアドバイスや救急車の要請を行います。必要な人の救助に救急車が向かえるよう、判断に迷う時はまず救急安心センターおおさかに相談しましょう。

## 救急車が到着するまでに 応急手当を

救急車が現場に駆け付けるまで約9分かかります。救急車が来るまでに応急手当をすることで、救命の可能性は約2倍に増加します。

市は、毎月応急手当講習会を開催しています。大切な人の命を救うために、ぜひ参加しましょう  
(本誌24ページに関連記事)。

